

□主な内容

【第 4 回アジア EST 地域フォーラムの結果について】

環境省から、平成 21 年 2 月に韓国・ソウルにて開催された、アジア EST 地域フォーラムの第 4 回会合の結果が発表されました。

【COP15 の関連イベントがはじまりました】

平成 21 年 12 月に、デンマーク・コペンハーゲンにて COP15 が開催されます。この COP15 の関連イベントとして、エコサイクリングのイベント等が日本国内でもおこなわれます。

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 32 回)

●「コミュニティ・レールに関する一考察」

【日本銀行金融研究所 企画役 宇都宮 浄人】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 32 回)

●「上越市における EST モデル事業の取り組み」

【上越市企画・地域振興部企画政策課新幹線・交通政策室室長 宮崎 豊】

3. ニュース／トピック

●地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく鉄道事業再構築実施計画の認定(『公有民営化』第 1 号)について【国土交通省】

●第 4 回アジア EST 地域フォーラムの結果について【環境省】

●「EST の未来をひらくパネルディスカッション」を開催しました。【近畿地方環境事務所】

●富山地方鉄道の路線バスで、“おでかけ定期券”を利用しましょう【富山市】

●有馬・東有馬地区でコミュニティバスの運行実験が行われます【川崎市、宮前区】

●エコな電車に乗ってトクしちゃおう！グリーン定期 & グリーンポイント【富士急行株式会社】

●環境技術研究所を設立します【東日本旅客鉄道株式会社】

●土・日・祝日のお出掛けに、電車を使って、エコでおトクな「エコ乗り」が、ショッピングにも拡大します！【阪神電鉄株式会社】

●筑豊直方駅にて「パーク&ライド」サービスを開始します【西日本鉄道株式会社】

●バスと自転車のコラボレーション・・・前面に自転車を載せられる路線バスを運行！【神奈川県中央交通株式会社】

- 携帯電話で検索した位置情報とカーナビゲーション間の情報連携プラットフォームを開発【KDDI 株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社ナビタイムジャパン】

4. イベント情報

- これからの福岡の都市交通を考える～モビリティ・マネジメントセミナー～【2009/3/25】
- 次世代自動車等導入促進事業シンポジウムの開催について【2009/3/25】
- 地方部のモビリティ確保のための参加型生活支援交通計画【2009/4/24】
- 第 19 回交通経営マネジメント研究会【2009/4/25】
- “COP15 CYCLING TOUR”「デンマーク大使と走ろう、エコサイクリング」【2009/5/23-31】
- 第 17 回環境自治体会議たじみ会議【2009/5/27-29】

5. その他

- 記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 32 回)

- 「コミュニティ・レールに関する一考察」

【日本銀行金融研究所 企画役 宇都宮 浄人】

自動車中心のライフスタイルが普及する中、公共交通の衰退が続いています。特に地方都市では、公共交通のサービス水準の低下が住民のさらなる公共交通離れを加速させるという悪循環に陥っており、公共交通のあり様を見直していくことが求められています。

そのような視点で改めて地方都市をみると、鉄道線のネットワークが今もそれなりに存在しているケースは少なくありません。ただ、本数が少なく、駅が市街地や商店から遠いため、生活路線として定着していないというのが実態です。もし、こうした既存の鉄道の利便性を向上させれば、それだけでも人々の行動は変化するように思われます。

最近、国土交通省が、コミュニティ・レール化という言葉で、潜在的に利用ニーズがある既存の鉄道を整備する方針を打ち出しました。駅について、新設などハード面だけではなく、運行情報提供などのソフト面でも財政支援を行うようです。

コミュニティ・レールとして既存の鉄道を活用する一つの方法は、昨今欧州で普及しているトラムトレインです。トラムトレインとは、既存の鉄道線に市街地の路面電車を乗り入れる交通システムですが、これによって、公共交通のネットワークは相乗的に広がり、利便性は格段に向上します。実際、ドイツやフランスの実績は目を見張るものがあります。

また、こうした既存の鉄道を使ったトラムトレインが日本でも展望できるのであれば、各地で議論が進められているLRT計画がもたらす経済的な効果も変わってきます。トラムトレインを核にしたコミュニティ・レールは、地方都市の問題を解決する方法として、もっと検討がなされてもよいと思います。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 32 回)

●「上越市における EST モデル事業の取り組み」

【上越市企画・地域振興部企画政策課新幹線・交通政策室室長 宮崎 豊】

上越市では、平成 19 年度から EST モデル事業に取り組み、2 年目となる今年度は、市民参加のワークショップを開催し、①エコポイント社会実験の実施、②市民への普及を目指して「上越版交通環境家計簿」の作成、③市街地循環バス導入の検討を行いました。また、CO2 削減と公共交通の利用促進・啓発のため、①バススタンプラリーの開催、②エコドライブ講習会を開催しました。

エコポイント社会実験では、バス事業者と商店街が連携した初の取り組みとなり、1 ヶ月という短い期間でしたが、ポイント交換者数は延べ 800 人を超え、良好な結果となりました。また、エコドライブ講習会では、参加者の自家用車に燃費計を取り付け、講習前、講習後における燃費向上を実体験していただきました。講習後の燃費は、平均 30%の向上が見られ、参加者からも大変好評でした。

こうした取り組みにより、市民一人ひとりの行動が、環境に配慮した行動へと繋がるよう、意識啓発を継続的に行い「地球環境都市・上越」にふさわしいまちづくりを進めます。

エコポイント社会実験チラシ(リンク)

http://www.city.joetsu.niigata.jp/contents/town-planning/kotsu/pdf/bus_ecopoint.pdf

バススタンプラリーチラシ(リンク)

http://www.city.joetsu.niigata.jp/contents/town-planning/kotsu/pdf/bus_stamp.pdf

3. ニュース／トピック

●地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく鉄道事業再構築実施計画の認定(『公有民営化』第 1 号)について【国土交通省】

国土交通大臣は、若桜町(鳥取県八頭郡)、八頭町(同)及び若桜鉄道株式会社から共同で申請がなされていた鉄道事業再構築実施計画の認定事案について、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 第 25 条の 3 の規定に基づき、平成 21 年 3 月 13 日付けで認定しました。今回の鉄道事業再構築実施計画は、福井鉄道・福武線(平成 21 年 2 月 24 日認定)に次いで 2 件目ですが、「公有民営化」方式としては初めての認定になります。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo05_hh_000004.html

●第 4 回アジア EST 地域フォーラムの結果について【環境省】

環境省は、国際連合地域開発センター(UNCRD)、韓国国土海洋部とともに、アジア EST 地域フォーラムの第 4 回会合を、平成 21 年 2 月 24-26 日に韓国・ソウル市にて開催しました。アジア EST 地域フォーラムは、アジア地域における環境的に持続可能な交通 (EST) の実現を目指して、我が国と国際連合地域開発センター(UNCRD)が共同で設立した政府ハイレベルによる政策対話会合です。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10854>

●「EST の未来をひらくパネルディスカッション」を開催しました。【近畿地方環境事務所】

近畿地方環境事務所では、「近畿圏内における EST の更なる普及」を目的として、先月 6 日にパネルディスカッションを開催しました。パネルディスカッションには、EST モデル地域を含め近畿地域で EST やモビリティ・マネジメントを担う市民団体や NPO 法人、自治会など、行政と市民との「つなぎ役」を果たしている方をはじめとする、関係団体にお集まりいただきました。

<http://www.estfukyu.jp/pdf/ESTpaneldiscussion.pdf>

●富山地方鉄道の路線バスで、“おでかけ定期券”を利用しましょう【富山市】

富山市では、中心市街地の活性化を図るために、路面電車環状線化事業や「まいどはやバス」など公共交通の利便性の向上に取り組んでいます。富山地方鉄道の路線バスで、“おでかけ定期券”を提示すると、市内各バス停から中心市街地まで 100 円でご利用できます。

http://www7.city.toyama.toyama.jp/window/13_another/01/01_2.html

●有馬・東有馬地区でコミュニティバスの運行実験が行われます【川崎市、宮前区】

川崎市では、地域が主体となったコミュニティ交通導入の取組について支援を行っています。「有馬・東有馬地区コミュニティバス導入協議会」では、宮前区役所など行政施設へのアクセス向上のため、コミュニティバス導入について取り組んでおり、この度、平成 21 年 3 月 1 日(日)から 3 月 28 日(土)の 28 日間、運行実験を実施することとなりました。

<http://www.city.kawasaki.jp/e-news/info1826/index.html>

●エコな電車に乗ってトクしちゃう！グリーン定期&グリーンポイント【富士急行株式会社】

富士急行線では、平成 21 年 3 月 14 日より、グリーン定期およびグリーンポイントを実施します。企業(法人)向けのグリーン定期や、個人向けのグリーンポイントを使って、エコにおトクに電車を利用することが可能です。

http://www.fujikyū-railway.jp/forms/info/info.aspx?info_id=8633

●環境技術研究所を設立します【東日本旅客鉄道株式会社】

東日本旅客鉄道は、環境に関する目標(CO2 削減など)を達成するためには、既存技術の積み上げに加えて、新たな環境技術を当社グループ事業へ導入するための、戦略的かつ積極的な研究開発が不可欠と考え、企業として持続的な発展を図りながら、環境保護における社会的責任を果たすために、研究開発を推進する環境技術研究所を設立することとしました。

<http://www.jreast.co.jp/press/2008/20090302.pdf>

●土・日・祝日のお出かけに、電車を使って、エコでおトクな「エコ乗り」が、ショッピングにも拡大します！【阪神電鉄株式会社】

阪急阪神ホールディングスグループでは、地球環境保護の視点から、温室効果ガス排出量の少ない公共交通機関の利用促進を目的として、STACIA PiTaPaカードでの公共交通機関ご利用に対してポイントを進呈するサービス『「エコ乗り」レール&バス』、『「エコ乗り」レール&レール』を実施しております。2009年3月20日(金・祝)の阪神なんば線開通を記念して、阪神間からのアクセスが向上する心齋橋ビッグ★ステップを含め、グループの商業・レジャー施設と連携したサービス『「エコ乗り」レール&ショッピング』を、8月30日(日)まで実施します。

<http://www.hanshin.co.jp/company/press/pdf/20090312.pdf>

●筑豊直方駅にて「パーク&ライド」サービスを開始します【西日本鉄道株式会社】

筑豊電気鉄道では、平成21年3月16日より、筑豊直方駅にて「パーク&ライド」のサービスを開始いたします。今回の「パーク&ライド」は、筑鉄電車定期券をお持ちのお客さまを対象に、筑豊直方駅前の当社が所有する月極駐車場を通常料金より2,100円引きの4,200円でご利用いただけるサービスです。当社では、駅まで徒歩約1分という利便性の高い「パーク&ライド」サービスを提供することで、地球環境にやさしい公共交通機関の利用促進、および都心部の交通渋滞緩和に寄与します。

http://www.nishitetsu.co.jp/release/2008/08_147.pdf

●バスと自転車のコラボレーション・・・前面に自転車を載せられる路線バスを運行！【神奈川中央交通株式会社】

神奈川中央交通は、3月26日(木)より、自転車の積載が可能な路線バス(前面への積載ラック設置は日本初の形態となります)の運行について、実証実験を開始します。これまで、自転車とバスをご利用いただくお客様の利便性向上を図る「サイクル&バスライド」の整備を行うなど、公共交通機関の利用を促進することにより、環境負荷の軽減を目指す取組を推進していました。今回のバスと自転車のコラボレーションは地球温暖化抑制対策、自転車の飲酒運転や傘を差しながらの片手運転などによる交通事故の防止に寄与するものとして期待されています。

<http://www.kanachu.co.jp/newsinfo/pdf/release20090226.pdf>

●携帯電話で検索した位置情報とカーナビゲーション間の情報連携プラットフォームを開発
【KDDI 株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社ナビタイムジャパン】

KDDI、トヨタ自動車、ナビタイムジャパンは、携帯電話で検索した位置情報を Bluetooth 通信によりカーナビゲーションに転送し、携帯電話とカーナビゲーションをシームレスにご利用いただくためのプラットフォームを開発しました。これにより、携帯電話であらかじめ検索した最新のドライブスポットの情報を、車に乗り込んでカーナビゲーションに転送するだけで簡単に目的地として設定でき、最適なルート案内でドライブを楽しむことが可能となります。

http://www.toyota.co.jp/jp/news/09/Mar/nt09_0307.html

4. イベント情報

●これからの福岡の都市交通を考える～モビリティ・マネジメントセミナー～

日時:平成 21 年 3 月 25 日(水) 9:30～12:00

場所:福岡交通センタービル 8 階 A2 ホール

主催:国土交通省

<http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/ir/press/files/h20/h21.03/090305.pdf>

●次世代自動車等導入促進事業シンポジウムの開催について

日時:平成 21 年 3 月 25 日(水) 14:00～17:00

場所:丸ビルホール(東京都千代田区丸の内 2-4-1 丸ビル 7・8 階)

主催:環境省

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10828>

●地方部のモビリティ確保のための参加型生活支援交通計画

日時:平成 21 年 4 月 24 日(金) 18:00～20:00

場所:キャンパスポート大阪のルームE 大阪駅前第 2 ビル 4 階

主催:大阪交通科学研究会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/koukaken/news0902.pdf>

●第 19 回交通経営マネジメント研究会

日時:平成 21 年 4 月 25 日(土) 13:30～15:30

場所:未定

主催:京都大学

<http://www.si.gsm.kyoto-u.ac.jp/scty/tr/info/19.php>

●“COP15 CYCLING TOUR”「デンマーク大使と走ろう、エコサイクリング」

日時:平成 21 年 5 月 23 日(土)～31(日)

場所:東京・安城・福島・札幌・宮崎・広島・今治・和歌山・京都(全国 9 カ所)

主催:デンマーク大使館

<http://www.cop15.jp/>

● 第 17 回環境自治体会議たじみ会議

日時:平成 21 年 5 月 27 日(水)～29(金)

場所:多治見市文化会館 他

主催:第 17 回環境自治体会議たじみ会議実行委員会、環境自治体会議、多治見市

http://www.city.tajimi.gifu.jp/kankyo/jichitai_kaigi/gaiyou.html

5. その他

● 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:EST@ecomor.jp(担当:市丸)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

EST ポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>